

消防団 石神井



令和4年秋季 第38号

発行：石神井消防団本部
(石神井消防署内)

Tel: 03(3995)0119

編集：石神井消防団広報委員会

第十代 石神井消防団長就任



【消防団歴】

昭和五十一年四月一日

消防団入団

平成十六年四月一日

第九分団長任命

平成二十二年四月一日

副団長任命

令和四年四月一日

消防団長任命

石神井消防団長

榎本 優

(えのもと ゆたか)

【消防団長挨拶】

石神井消防団は、昭和四十年四月一日に練馬消防団から分離し発足しました。

この歴史ある石神井消防団の第十代消防団長として今年の四月に任命されました。

私たち消防団員は、近年複雑化する自然災害に対応するため、「我が街は私達が守る」という使命のもと、一丸となって日々訓練を積み重ねております。

消防団長として、歴史ある石神井の町を地域の皆様と協力して、安心で安全な町を目指し尽力して参りますので、これからも消防団へのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

3年振りに消防団消防操法大会を実施



夜間訓練の様子



火点を目掛けて放水せよ！



大会当日は、酷暑のなかで各分団ともに日頃の訓練成果を発揮しました。

第十分団が優勝

六月四日に都立石神井公園B地区野球場に於いて、第十消防方面本部長ご臨席のもと、石神井消防団消防操法大会が挙行されました。

【審査結果】

- ・ 優勝 第十分団
- ・ 準優勝 第七分団
- ・ 三位 第六分団
- 第二分団

第四十八回石神井消防団消防操法大会(6月)

◆活動内容◆令和4年4月～令和4年9月

新入団員教育訓練（7月）

7月2日(土)第6分団本部にて新人団員教育訓練が行われました。
 午前は座学による組織活動の基礎を学び、第10分団軽部哲史さんの講話を伺いました。東北大地震から防災に対する意識を高め入団、操法大会では1位になり都大会出場の経験もあります。消防団員となり、人と人との繋がり大切さを学んだとのことでした。
 午後は実技を学び、実際にホースを持ち放水を体験しました。
 新入団員のみなさんは積極的に取り組み、有意義な1日となりました。



練馬区総合水防訓練（5月）

都立城北中央公園において、練馬区・第十消防方面合同の水防訓練が行われ、石神井消防団も署隊と連携し、スコップ片手に改良型積土のう工法訓練を実施しました。
 近年、台風など都市でも起こりうる自然災害への備えとし、土のう積にも多くの方が関心を寄せられ、各訓練を熱心に見学されていました。



照姫まつり警戒と団員募集広報（4月）



新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりに開催されました第35回照姫まつり。
 お天気が危ぶまれる中でしたが大勢の方が来場され、石神井消防団では、第3分団及び第10分団が石神井消防署と連携して、会場やパレードの警備を行いました。
 野外ステージでは消防署員と消防団員の各活動に応じた服装紹介があり、最後に消防団員募集広報をしました。
 最後になって本格的な雨になりましたが、大きな混乱もなく、無事終了することができました。

練馬区内消防団合同点検（9月）

9月17日(土)「都立石神井公園内B地区野球場」に於いて、晴天の中、3年ぶりに区内3消防団（石神井・練馬・光が丘）の合同点検が行なわれました。震災時を想定しての救助・救護の実演、そして最後の消火活動の一勢放水は壮観でした。



～災害活動紹介～

昨年末に関町南で発生した火災現場で消防団は消防署と連携して活動を行いました。
 第5分団が署隊から延長されたホース1線を担当し、隣棟建物への延焼阻止に従事している状況です。年末ということもあり過酷な気象条件の中での活動でした。



消防団員救命講習（8月）

8月下旬、上級救命資格を持つ団員に対し、資格更新の為、再講習が石神井消防署で行われました。講義と成人、小児、乳児それぞれの心臓マッサージと人工呼吸の実技訓練等を行い、今回は、コロナ禍で実施する際の注意点についても学びました。参加団員は、いざという時に地域のお役に立てるよう真剣に取り組んでいました。



はたらく「消防の写生会」へ参加

毎年4月中旬から5月中旬にかけて、「はたらく消防の写生会」が行われ石神井消防団も石神井消防署と共に参加しました。
 写生会に参加した団員の中には、火災出場の時に着用する防火衣を着てモデルを務めた団員もいました。子ども達が一生懸命描く姿を見られたり、子ども達から質問攻めにあったりと僅かな時間でしたが子ども達と触れ合うことが出来て、最後には「また来てね!」と何人も声をかけてくれました。



女性消防団員の声

第六分団 団員 オペレンシア由美子 (主婦)



私が消防団に関心を持ったのは新聞の中にあつた東京消防庁の広報でした。警備会社での勤務経験があるので消火器や消火栓、AED等の使い方や種類は知っていましたが人命を守り、地域の役に立ちたいと思い入団を志望しました。分団の方々は皆さん親切で丁寧に教えて下さり、また気さくな方々であります。訓練での真剣さと熱心さ、ミーティングでの積極さに感動するばかりです。地域を火災から守る団員の一人としてしっかりと学ばせて頂き、火の安全を呼びかけて参ります。

第三分団 団員 梶原 道代 (主婦)

消防団の活動は、自らの地域の安全を守るという、重要な役割を担っています。消防隊員の後方支援だけでなく、平常時も非常時も問わず、地域に密着した活動をしています。

まだまだ男性色の濃い環境ではありますが、女性も活躍しています。子育て中の方、学生や主婦、自営業、会社員など様々な職種の方々がいて、年齢層も幅広いです。特に、地域住民や小、中学生への防火防災活動、応急手当の普及活動、広報活動など、女性の持つソフトな面を活かしており、消防団活動に欠かせない存在になっていると思います。

こうして入団して自分に強く芽生えたものは、防災意識でした。

少しでも消防団に興味のある方は、各地で行われるイベントなどに、お気軽にお越しください。

新入団員紹介

第四分団 団員 宮原 将護



初めまして、今年の四月に第四分団に入団いたしました宮原将護と申します。今回は、最初の面談で分団長にも聞かれたのですが、どうして入団しようと思ったのか、というきっかけについてお話ししたいと思います。

きっかけは、昨年十月に観た、友人の藤田久雄が脚本・演出をした演劇でした。主演の森田さんという俳優がカーテンコールの挨拶で、「私も日頃、消防団員として活動をしており、このような形で消防団のことを知って貰いたい」というお話をしており、自分の住む街にもあるかを調べ、消防署に行きました。これが僕のきっかけです。

3・11の時にレンタカーでボランティアに駆けつけましたが、ほんのわずかな力にしかねれず、何かあつた時に自分が人を助けることが出来るようになれば、と思っていたこともあり、入団を決めました。

まだまだ新人研修、格納庫の点検、写生大会への同行くらいしか出来ておりませんが、いざという時のために、出来る限りをやっています。

お読みいただき、ありがとうございます。

新入団員の活躍に期待します！

分団受持ち区域

第一分団	富士見台地区
第二分団	南大泉地区
第三分団	石神井町
第四分団	下石神井地区
第五分団	上石神井地区
第六分団	関町北
第七分団	立野町地区
第八分団	東大泉地区
第九分団	西大泉地区
第十分団	大泉学園町
	大泉町地区
	南田中地区
	石神井台地区

～消防団員募集～

あなたの住んでいる街に
あなたの力を貸してあげませんか。
ご興味のある方は、下記にご連絡下さい。
石神井消防団本部
TEL : 03(3995)0119